

特記仕様書（その2）

1. この工事は、複数年にまたがる債務負担行為に係る工事である。
2. 各会計年度における請負代金の支払限度額（以下「支払限度額」という。）は、次の割合のとおりとする。

令和6年度	約11%
令和7年度	約89%
3. 発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、前項の支払限度額を変更することができる。
4. 前金払は、出来高予定額の10分の4以内とするが、各年度の支払限度額を上限とする。

特記仕様書（その2）

1. この工事は、複数年にまたがる債務負担行為に係る工事である。
2. 各会計年度における請負代金の支払限度額（以下「支払限度額」という。）は、次の割合のとおりとする。

令和6年度	約11%
令和7年度	約89%
3. 発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、前項の支払限度額を変更することができる。
4. 前金払は、出来高予定額の10分の4以内とするが、各年度の支払限度額を上限とする。

特記仕様書（その2）

1. この工事は、複数年にまたがる債務負担行為に係る工事である。
2. 各会計年度における請負代金の支払限度額（以下「支払限度額」という。）は、次の割合のとおりとする。

令和6年度	約11%
令和7年度	約89%
3. 発注者は、予算の都合その他の必要があるときは、前項の支払限度額を変更することができる。
4. 前金払は、出来高予定額の10分の4以内とするが、各年度の支払限度額を上限とする。